

2019年1月8日

忙しいときに限って、不思議と掃除や片付けがしたくなり、しなければいけない事たちを横に置いて、始めてしまうことがあります。

みなさんは、いかがですか？

やるべきことから逃げているような気がしますし、心を集中するために先ず身の周りをすっきりしようという前向きな思いである気がします。

今日、冬休みさいごの日も、ほうきやモップで掃いたり、床を磨き出したり、のうぜんかぶらのつるを切ったり、渡り廊下の屋根やトコの落ち葉を集めたり……。

さらに思いついたことは、花の苗を買いに行きプランターに植えて窓に飾ること……思わず夢中になって4時間もかけてしまいました。

「あー たのしかった！」と満足ですが、少々というか かなり焦りの気持ちも出てきます。

しかし、ふと気がつけば、やるべきことは確かに直接してはいませんが、手を動かしたり、自分の意志を動かせることによって、世界に存在しているものたちとの関係性が生まれ、結果的にこれからやろうとしていることにつながるヒントが、糸口が与えられることも多いようです。

さあ一年をどう過ごすか？、2019年をどうデザインするのか？ その土台となるビジョンを持たなくては いけません。その礎から建てられていくものが、今年1年の意味となっていくことでしょう。

見通しの立ちづらい時代ですが、信じるところに従って、具体的に動きながら道を作り出し、大切なものを見い出していきたいと思います。

ほら、片付けをしたら行方不明になっていた書類が見つかりました。つるを切ったら景色がすがすがしくなりました。花を飾ったことで冬の窓がチャームングでラブリーになり、気持ちも晴れや今になりつつも のどかです。

そして今日の経緯をこうやって書き記していくと、間もなく1月の幼稚園通信の巻頭言ができあがりそうです。

「具体的に動きながら みつけ出していく」として、大切ですね！

おくれんも 桜の木の花のつぼみが寒い大気の中であたたかい春を待っています。

3学期 子どもたちが、きつとひと回り大きくなってやってくることでしょう。しめくりの時期は、同時に次のステージへの準備の時期でもあります。

盛り沢山の中にもゆとりを、忙しさの中にもほのほのを感じながら行動と意志の働きを通していのちある存在たちと縁を結びつ前に進んでいきたいと思います。

そして出来事は、人がそれぞれらしく入るためにあるのだというのを忘れずに、春に向かっていきたいと思っています。

3学期の始業を前にして… 園長 針光泰雄